

“リリース自動化”により、迅速で高品質なアプリケーションのデプロイを実現
継続的デリバリにより新たなビジネス価値を迅速に提供



CA Release Automation

新たなビジネスニーズにITをタイムリーに呼応させていくためには、アプリケーション開発サイクル（SDLC）の「俊敏性」をこれまで以上に加速させる必要があります。加速していくSDLCのなかで従来のシェルスクリプトを含めた手作業が多く残存する、アプリケーションリリースのプロセスは、俊敏性が求められる今日のビジネスにおいては深刻なボトルネックになりました。また、手作業であるが故の操作ミスによる品質障害も、ビジネス価値を損ないかねない重要な問題です。

CA Release Automationは、こうしたアプリケーションのリリース作業を自動化することで、従来の手作業を排除し、新しいアプリケーションの市場への投入スピードを劇的に高め、同時に品質リスクを大幅に低減します。



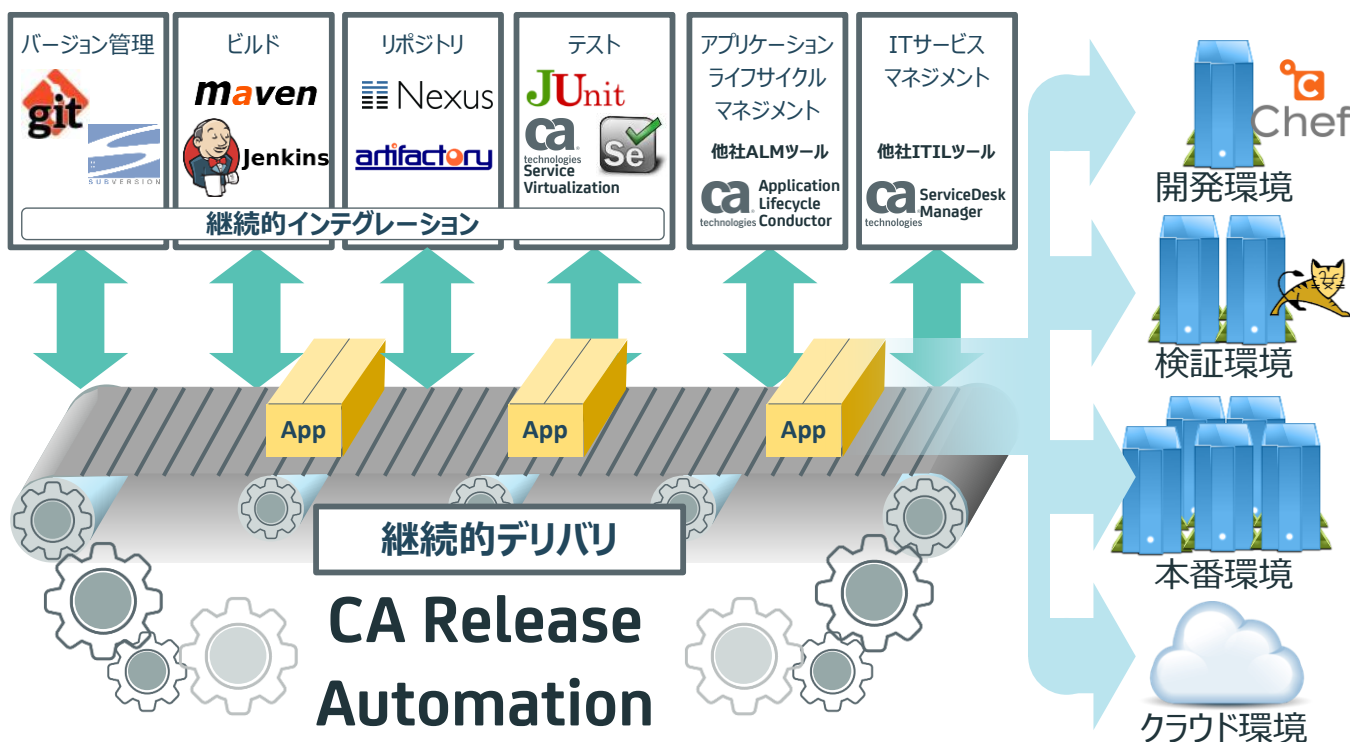
リリースの俊敏性や品質を阻害する要因 – 「手作業」

リリースが手作業であるが故の以下のような状況は、アプリケーションの品質と俊敏性を阻害している典型的な例です。

- 俊敏性
 - 自動化スクリプトは保有しているが、実行は手作業が前提のためリリースに時間がかかっている
 - アジャイル開発をしているが、リリースはある程度のスプリントをまとめて実施している
 - シェルスクリプトのメンテナンスが属人化しており、新たなリリースへの迅速な対応が難しい
- 品質
 - リリースに手作業が残っているため、操作ミスのリスクがある



解決手段 – 継続的デリバリによる“リリース自動化”



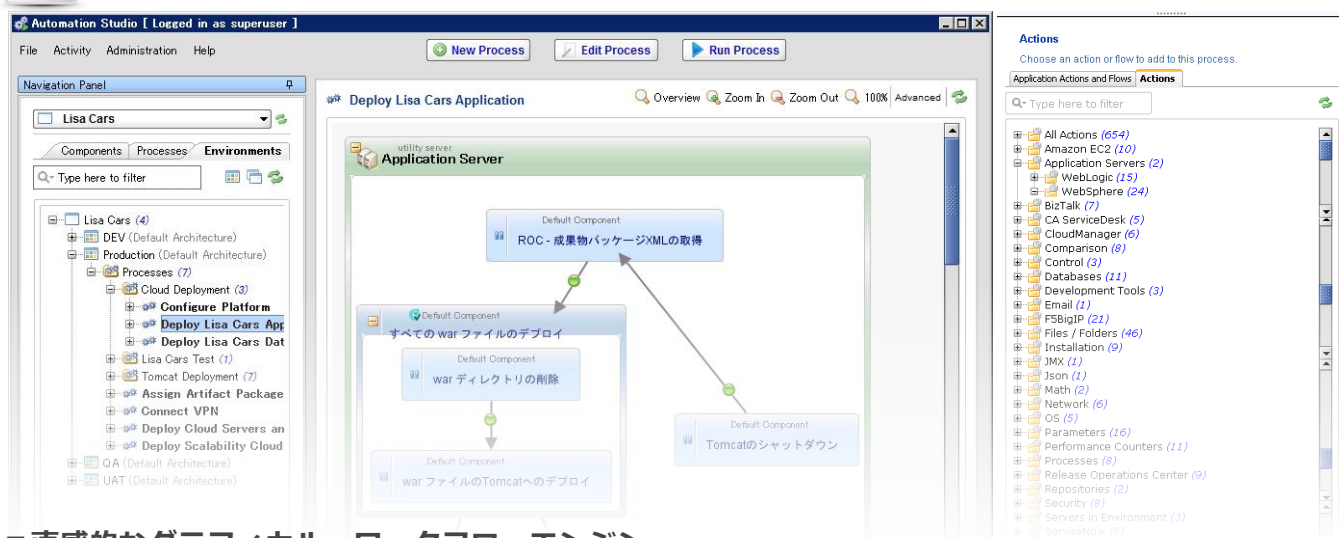


“リリース自動化”がもたらす効果

- リリースに要する要員と時間、エラーの低減
- ビジネス価値を生み出す時間の短縮



CA Release Automation の主な特徴



■ 直感的なグラフィカル・ワークフローエンジン

直観的なワークフロー設計機能を提供することで、アプリケーションリリースプロセスをグラフィカルに定義することができ、スクリプト作成の手間とエラーを削減します。

■ 豊富に用意されたアクションパックとプラグイン

オープンソースや商用製品を含む、主要なツールともスクリプトなしに連携させることが可能です。これにより、顧客はこれまでの投資をそのまま活用できるようになります。

■ アプリケーション指向、マニフェスト駆動型のアプリケーション配布

再利用可能で繰り返し可能なリリースプロセスを提供することで、アプリケーションの配布が簡素化、効率化されます。これにより、分散されたヘテロジニアスな基盤にわたる複数層から構成される作業フローを、人手を介さずに自動化し、ユーザー、アプリケーション、環境を合理化、調整します。

■ 複雑で大規模なシステムに適した継続的デリバリ

数千台のサーバーや複数のデータセンタといった複数層からなる複雑な分散ソリューションを処理できるように設計されています。また、リリース自動化環境とエージェントの自動フェイルオーバーと配布の実行プロセスの継続を確実にします。

■ IT ガバナンスとコンプライアンス

アプリケーション配布の傾向を確認するためのダッシュボード機能を提供しています。これにより、システム部門の管理職の方は配布プロセスを監視し監査することができるようになります。また、実行中にリアルタイムでエラーを確認しながら配布を行える対話的なプロセスも提供します。

CA Technologies

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル
 お問い合わせ窓口：CA ジャパンダイレクト 0120-702-600
 WEB サイト：www.ca.com/jp